

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 4 月 30 日

施設名：アブロス矢代スポーツセンター
 指定管理者名：都市総合開発株式会社
 所管課名：総合政策部 観光スポーツ室 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	管理運営について、事業計画を基本に管理運営を行い、大きな事故やトラブルが起きることなく無事1年間の運営が出来ました。年に4回と施設内ミーティングを実施し、業務内容の確認とともに管理運営方針等を協議しております。職員間の連絡体制はSNSを活用し、意思の統一を図っております。利用者の立場に立った運営を心がけ、設備等の点検を徹底したことで安定した運営ができました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	本施設は多種目の利用が見込まれることから、月2日の休館日を1日とすることと、月・火・水の営業時間を22時30分まで拡大し利便性の向上に努めました。また、新たなイベント等の開催とHP・SNSによる施設のPRによって施設認知度が向上し、利用者増に繋がっております。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		—	—	—	—	—
自主事業は計画どおり行われたか。	今年度も、テニススクールを開講し子どもから大人まで対象に行い、その他ヨガ教室も新たな教室種目を増やし利用者からも大変喜ばれております。また、施設独自のイベントを新設するなど、施設利用の拡充にも寄与し計画に基づき実施しております。今後も、ニーズの把握を行い事業の拡大に努めて参ります。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	保健センターとの協働・連携体制により、定期的な講師派遣を行い体操実技等の実施を行うことで、保健センターの利用者への健康増進に寄与しています。また、苫小牧市勤労共済センターへの講師派遣も行っており、地域の関係機関との連携を通して市民への健康増進に貢献しております。その他、今年度より苫小牧市との連携により「運動習慣化事業」にも取組み、施設への誘客へと繋げております。	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	今年度の利用者アンケートでは「質問項目の平均」で「満足、やや満足」との回答が全体の91.7%、「職員の対応」の項目では100%と高い評価をいただいております。現状に満足することなく今後も「快い対応」で全ての利用者が満足できる施設にしていきます。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	常に施設受付横には「ご意見箱」を設置しております。また、受付での口頭による意見・要望についても記録するなど、利用者からできるだけ多くの意見・要望をいただける体制を整えております。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	意見・要望・苦情が寄せられた場合、全従業員に周知するとともに、他の管理施設の対応事例を共有し対応を行っています。また管理運営委員会に報告し、その対応について協議しております。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	水道光熱費の節約のため、必要のないものは削減し、使用可能なものは再利用するなど、経費削減に努力しております。 また、施設の修繕や補修はできるだけ職員自らが作業に当たり、経費の節減に努めてきました。 時間や労力を割く業務については、改善に向けた意見を出し合い、作業の効率化を図っております。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者については、市内に事業所がある信用信頼ある企業を選定しております。委託費用についても、内容に合致する金額かどうかを精査し、適切な契約を結んでおります。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	年末年始を除き、通年通して休館日を月に1日のみとし、営業時間についても月・火・水を22時30分と開館時間の拡大を行っております。 自主事業においても新たな種目を設置するなど、収入増加の取組に努めています。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	今年度はOJTとOff-JT研修を行い、職員のスキルアップが利用者への還元になり得ることから、職員に向けた研修を重要視しております。 また、防災訓練時には「心肺蘇生」と「AEDの使用」研修も行っております。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	リスクマネジメントに伴う点検等を行い、事前に事故防止に努めております。また、消防訓練を実施している他、救急用品の補充やアイシング用の氷を常備しております。また、「防火シャッターの検査」も実施し安全対策として行っております。	A	B	C	D	E

人員配置及び職員の管理体制は適正か。	利用者増加に伴い業務量も増加しておりますが、管理運営に支障の無い人員を配置し、適正な管理運営を行ったことで、大きな事故・トラブルが起こることなく運営することができました。 業務に関する情報は連絡ノートを作成し、全職員が共有できるよう徹底しております。	適			不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	限られたスペース施設であることから、専用利用については抽選会を行い特定の団体等に利用が偏らないよう調整を行っております。 使用料の減免・還付の取り扱いについては、市の要綱に基づき適切に処理しております。特例に伴う還付については、その都度担当課と協議しながら対応をしております。	適			不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から一切施設外に持ち出さず、適正に保管されております。また、不要な書類はシュレッダー処理により個人情報の漏洩を予防しております。なお、業務終了後は適切に施錠を行い、警備体制も万全に整えております。	適			不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収入及び支出については、項目ごとに適正に会計処理し計上しております。また、担当課が行う実地調査にも適正に対応しております。	適			不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検を含め設備の点検保守は、市内の専門業者に委託して適正に実施しております。また、「防火シャッターの検査」と「建築物検査」等も実施し施設の修繕箇所の把握を行うことで、危険箇所は速やかに修繕等を行っております。	適			不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	業務上重要な書類は、鍵の掛かるキャビネットに保管するなど適正な管理を行っております。 備品については、引き継ぎを受けた備品一覧表を活用して適正に管理しております。また、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	適			不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	管理運営に際しては、条例・規則・協定書等を遵守し、矢代スポーツセンターとしての役割を理解して管理運営に努め、適正な管理を行っております。	適			不適
5 地域貢献					
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	全職員が苫小牧在住者であり、地元の雇用を優先しております。また、資材調達や委託業者についても苫小牧の業者を優先して選定しております。	A	B	C	D E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

事業計画書を基本に協定書や条例・規則・要綱等を遵守し、今年度においても感染症の対策を引き続き行い、スポーツ都市推進課や関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営を行う事ができました。昨今の社会情勢により原油価格・物価高騰の影響を受けながらの対応に、今年度も引き続き苦慮する年となりましたが、利用者が安心・安全で楽しく運動できる施設づくりと適正な管理運営ができたと自負しております。

今年度においても、HP・SNSを利用した施設のPRの発信の強化と新たな施設独自のイベント「アブロス矢代スポフェスト」等の開催により、施設認知度の向上に繋がりました。これにより、新たな団体の野球チームやニュースポーツのモルックなどの新規利用者を獲得することができました。また、プロレス興行の誘致開催により多様な利用促進となり、施設における賑わいを見せております。

事業においては、昨年同様にテニススクールを開講しており、ジュニア・シニアのそれぞれのクラスを設定し利用者の増加と共に施設の拡充に寄与しております。その他、子ども向けの運動教室としてスポーツアカデミーも開催しており、施設利用の促進が出来ていると考えております。また、ミーティング室では、ヨガ教室を開催しており利用者のリピート化を図ることが出来、新たに「背骨コンディショニング教室」の増設を行い、常に利用者のニーズとご意見に注視しながら取り組んでおります。その他にも、保健センターとの協働・連携による運動指導者派遣や苫小牧市との連携により「運動習慣化事業」にも参画しており、施設への誘客に繋げております。

今後においても生涯スポーツやレクリエーションの拠点として多くの市民に利用される施設であることから、「多目的・地域密着」の特徴を活かし、常に「賑わいのある」施設の促進と「安心・安全」に利用出来るよう、「公正・公平」に管理運営を行ってまいります。